

■（公社）日本地すべり学会関東支部・（一社）斜面防災対策技術協会関東支部 「定峰地区の災害と対策工の見学」開催報告

（公社）日本地すべり学会関東支部

1. 実施概要

関東支部では、平成27年度より（一社）斜面防災対策技術協会関東支部との共催事業を行っております。今年度は令和元年東日本台風（19号）によって災害が発生した秩父市定峰（さだみね）地区において、災害対応の状況や対策工についての現地見学会を行いました。

表-1 「定峰地区の災害と対策工の見学」の実施概要

開催日	令和4年12月9日（金）
開催地	埼玉県秩父市定峰地区
主催	（公社）日本地すべり学会関東支部 （一社）斜面防災対策技術協会関東支部
協力	秩父市環境部森づくり課、埼玉県県土整備部河川砂防課、埼玉県秩父県土整備事務所
参加人数	46名

2. 内容

埼玉県秩父市定峰地区は、令和元年東日本台風の豪雨によって地すべり災害が発生し、河川護岸と隣接する道路が被災しました。この災害では、斜面協会関東支部が埼玉県との災害調査協定に基づく緊急調査を実施し、初動から対策工検討まで一連の災害復旧事業に貢献しました。

見学会では、はじめに、災害時に対応にあたった上野雄一氏と藤井貞男氏の案内により、被災当時の状況や監視体制、ボーリングコアの観察、対策工の詳細等について説明を受けました。その後は自由見学となり、各参加者はブロック背後の地すべり地形を含む斜面の状況や対策工の施工状況など、各自、思い思いの場所を観察して、また案内者に熱心に質問しながら、地すべりの機構や対策工設計のポイントなどについて、活発な議論を交わしました。

3. おわりに

関東支部では、今後も（一社）斜面防災対策技術協会関東支部との共催事業を実施する予定です。最後に、見学会を合同で開催しました（一社）斜面防災対策技術協会関東支部の関係各位に厚く御礼を申し上げますと共に、協力いただいた秩父市環境部森づくり課、埼玉県県土整備部河川砂

防課、埼玉県秩父県土整備事務所の関係者の皆様に感謝申し上げます。



写真-1 災害時には何度も張り直したという伸縮計



写真-2 抑止杭の頭部を緊張しているアンカー工



写真-3 ボーリングコアを囲んでの集合写真

（関東支部幹事 木村勝美、林一成）